

大和郡山 防災ニュース 31.4月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

いざという時の備蓄品は？

それぞれのご家庭でも食料や生活必需品の備蓄を考えてみませんか！

いざ災害になったときに心配なのは、食料や生活必需品です。過去の例を見ると、災害が発生すると、停電などで生鮮食料品が傷んでしまうため、インスタント食品などを求めるお客さんがスーパーやコンビニに殺到して商品がすぐになくなってしまうこともあるかもしれません。



また、災害時の救援物資が本格的に届くのは、災害発生から3日以後と言われています。各家庭でもできるだけ、その時点までの備蓄食料品を備えておきましょう。

ローリングストック法による家庭備蓄を！

とは言うものの、いわゆる災害用備蓄品と呼ばれるものでは、いざという時に賞味期限が切れていたとか、どこに収納しているかわからなくなったなど起こりがちです。このようなことを防ぐため、備蓄は普段食べたり、使ったりしているインスタント食品などを多めに購入して、古い順番に消費することで常に備蓄を意識しながら生活する「ローリングストック法」による家庭備蓄を試してみましょう。



なお、この方法で気をつけなければいけないのは、加熱方法を確保することです。行楽やアウトドアなどで使用するカセットコンロにボンベなども用意しておくといいでしょう。

復旧は電気が比較的早い！

ライフラインで比較的復旧が早いのは電気です。過去の大地震時でも概ね1週間ぐらいで復旧しています。地下埋設を伴う水道やガスは、特に地震の場合、液状化現象等の発生により、復旧に1～2ヶ月かかっています。IH製品や電気ポットなどがあれば、

比較的早い時期に使用できるでしょう。

市では、三の丸会館を中心に市内主要避難所に備蓄しています！

市の主な備蓄品は下記のとおりですが、大きな災害が発生するとこの備蓄品では足りません。市では全国の21市町と広域災害ネットワークを結んでおり、また市内の小売業者や工場とも食品等の供給協定を結んでいます。地域や家庭でもいざという時の備えをしましょう



市準備備蓄品一覧表（主なもの）

- アルファ米 約24000食
（うち三の丸会館に12000食、その他 小中学校、公民館などに約500食ずつ程度配置）
- ビスコ、クッキー、パンなど 約2500食
（うち三の丸会館に約2000食、その他約500食）
- 組立簡易トイレ 約400セット
（うち三の丸会館約90、各小学校に25配置）
- 排便処理剤 約5000（三の丸会館）
- 排尿処理シート 約4000（三の丸会館）
- 毛布 約2000（市内防災倉庫及び主要避難所）
- 自動膨張マット 約110（主要避難所）
- 畳ロール 70（市内防災倉庫及び主要避難所）
- 生理用品 約1200（三の丸会館）
- 紙おむつ 約4000（三の丸会館）
- ブルーシート 約240（三の丸会館など）
- マスク 約10000（三の丸会館など）

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課